

Tree house project 木の子

浅田野路（環境人間学部環境デザイン系2回生）

キーワード：里山，ものづくり，こども，イベント

1. 団体説明

木の子は、①地域の自然を利用した子どもや大人の環境教育・学習・地域交流の創造，②学生が協力して地域に貢献する場の創造，③建築，都市計画を専攻する学生の実践の場という3つを活動理念としている。また，ツリーハウスを里山のシンボルとし「地域」「里山」を盛り上げたいという想いで環境教育イベント，ツリーハウスや遊具の制作を実施。さまざまな世代の人々が里山という空間や時間を共有することによる，繋がりの創造を目指している。現在1回生6名，2回生8名が所属している。



写真2 ピザづくりの様子
(出所)所属学生撮影

2. 2023年度の活動

2月には，地域の小学生を呼んだ花植えのイベントを実施した。看板づくりをしたり，モルックで遊んだり，花植え以外にも子どもたちの楽しめるイベントを企画し，準備や当日の役割分担など，細かな点まで計画することの大変さを学ぶことができた。

6月に行われたツリーハウスを解体するイベントでは，制作当時の先輩たちと一緒に作業し，昔の話を聞くことができた。また，新入生の体験を兼ねたピザづくりでは，多くの仲間と協力して作業することの難しさを実感した。

7月にはエコフェス、環境人間学部のオープンキャンパスに参加し、それぞれ2月のイベントで作ったモルックで、様々な年代の人と交流することができた。



写真1 制作したモルック
(出所)所属学生撮影

3. 活動を通した学び

私たちはツリーハウスや遊具などを設計，作成することに加え，小学生を対象としたイベントを企画，運営することを活動の軸としている。設計，作成では学生だけで案を出し，顧問教員の指導の下で設計，施工をしている。

デザインに着目するだけではなく，目的や役割などの使用者のことを考えて設計している。これによって建築，都市計画の本質である部分を学ぶことができる。イベントの企画運営では，里山で子どもたちや地域の人の交流の場となり，安全で楽しむことができることを目的としてイベント企画をしている。このように運営することで実践力や発想力，創造力などが得られる。

4. 展望

来年度からは，これまでの里山における活動を終了し，場所と活動内容の変更を行う。具体的にどういった団体にしていくのかを明確にしていかなければならないと考えている。